

總生寬(きんか) 戯作者。天保十四年二月二十一日上總國生れ、明治一十七年十月九日歿(八四二九四)。筆名みずぎよすぎひと、七杉子、七杉情史、三杉四杉、古道人、天保仙人、天保道人、天保銭人、竹天堂主、竹天子、竹天狂士、竹天道人、滑稽道人、總子、總生七杉子、總生古道人、總生竹天道人、總道人、鶴幕小郎坊等。假名担魯又と親しく、魯又の高麗航海西洋道中膝栗毛』全十五編中十一編以降を擔當。また漢學に通じた。總生は改姓名。

著書『許谷文法』全二冊(編、卷之上、卷之下・明治七年十一月萬葉閣)、『東京繁昌新誌・初編』(編、明治八年五月中外堂)、『大日本語射圖教技法』(明治八年五月二十日官許・八月七日序・芳澤堂甘井堂)、

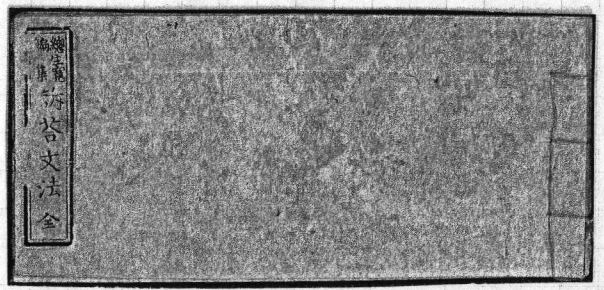
『朝鮮新論』(明治九年一月十八日萬葉閣)、『農家必携』全二冊(明治九年九月江島萬葉閣)、『命のせんたく』(明治十一年十月二十五日出版海・竹天堂「滑稽演説會」附録第一號)、『藝者賈ひの秘傳の部』

(内題「藝者賈ひの秘傳の部」明治十二年十二月二十日竹天堂「滑稽演説會」)、『大天狗算の寸法の部』(明治十四年七月二十五日竹天堂「古今無類新書」)、『精選艶曲集・中編』(明治十五年五月二十二日巖々堂)、

『東兩京新誌』全二冊(上卷東京、下卷西京・明治十八年五月東京緯史出版社)、諸道『對遊大觀經』(明治十八年十月浮木堂)、

『文』明膝栗毛『日本新遊記』(名人情知察)(明治二十年二月イーグル書房)、前『滑稽議貫』(竹天道人・滑稽道人名、明治二十一年十月岡安書舗)、

『舊弊』開化口論會(總生竹天道人名、明治二十一年十



二月、二十一日、白岡女子書館、  
武經、  
伊藤珍英校、  
明治二十四年十一月

白岡女子書館、  
卒。